

大谷學報 第四十六卷 (昭和四十一年度) 総目録

第 一 号

インド哲学における有神論をめぐる諸問題	雲井 昭善
クローディアスについて	井上 正名
——「ハムレット」解釈の一助として——	
竺道生の思想	三桐 慈海
婦命の尊貴	本多 弘之
ドイツ留学印象記	箕浦 恵了

第 二 号

慧日論の仏性説	富貴原章信
詩の形成について	荒木 文雄
——Herbert Read から——	
知的徳性の教育	藤 武
——ハッチンズを中心に——	
中国仏教と肉食禁止の問題	道端 良秀
人格について	寺崎 峻輔
——矛盾的性格を中心として——	
第 三 号	
別曹をめぐる二、三の問題	久木 幸男

ヨーロッパ、特にフランスにおけるシナ学、仏教学の現状……………ポール・ドミエヴィル  
 元の世祖と道教……………滋賀 高義

——特に正一教を中心として——

ゲーテの抒情詩「さすらいびとの嵐の歌」

“Wanders Sturmlied” にひいて……………芳原 政弘

伊勢物語の流動と定着……………鷲山 樹心

白居易撰釈教碑箋註(一)……………平野 顕照

#### 第 四 号

親鸞と天台学……………横超 慧日

——三願転入と五時教判との関係について——

善導と『起信論』……………藤原 幸章

トシミに帰せられた著作について……………稲葉 正就

——王統鏡の所伝を中心として——

プラトンの神観……………金松 賢諒

——『テイマイオス』研究序説——

教育における形式主義……………柴田 良稔

元朝「宣政院」考……………藤島 建樹

——その二面的性格を中心として——